

課題①

オーディション授業：20代～30代の女性

設定 .. 女性20代～30代

場所 .. VRシアター

店員からVRゴーグルと腕に巻くバンドを受け取る。バンドには人体の電気信号を読み取る装置に繋がっていて、女性は以前にもこのシアターに来たことがあるので、そのことを知っている。女性は手慣れた手つきでバンドを腕に巻き、ゴーグルを頭にセットする。少し待つと、ある場面が映し出される。

おなかの中の胎児。へその緒で母親の胎盤とつながった状態で、お腹の中に浮いている。まだ人間の形が形成される途中にある。心臓の拍動は見えない。胎盤の周辺にじめ、黒く小さな点が無数に広がっている。黒い点はくその緒の付け根に集中していて、血液や体液の流れを遮っているようにも見える。胎児がピクピク動くが辛うじてある。じぱりとするとい、もだえ苦しむように痙攣を始め、ピタリと動きが止める。そして胎児の身体が朽ち始める。

「うわっ！」

大きな声を上げ、ゴーグルを投げ捨てるよう外す。激しい動悸に襲われ、息ができなくなるくらい苦しい。

「あ、あれがあたしの身体が発する信号なんですか！？」

思わず店員にそう呼びかける。店員は無表情にうなずき、女性からゴーグルを受け取る。女性は自ら腕のバンドを外し、店員に渡す。店員は事務的に作業する。

「全身を殴られた感じ。でもなんあんなものが見えたのでしょうか。」

無言の店員にさらに言葉をかける女性。

「赤ちゃんが見えたので…。あたし、ずっと流産を繰り返していたのですから。」